

平成20年2月23日から24日に発生した低気圧による日本海高波の被害状況とその対応について

●被害状況

新潟県及び富山県を中心に日本海沿海14県の30漁港、6漁港海岸において、防波堤、岸壁、護岸等が被災。漁港施設等の被害報告額は約255億円。

富山県の被害

●富山県では、人的被害の他、4漁港、2漁港海岸、漁船66隻などに被害。

●特に、入善漁港海岸の護岸被害が大きく、背後集落も浸水。



護岸からの越流(入善漁港海岸)



背後集落の被害(入善漁港海岸)



護岸の被覆ブロックの飛散(入善漁港海岸)



りっこう もんぴ
陸閘の門扉の飛散(入善漁港海岸)



りっこう
陸閘の応急工事(入善漁港海岸)

新潟県の被害

- 新潟県では、佐渡市を中心に9漁港、1漁港海岸、漁船266隻などに被害。
- 特に、水津、鷲崎、北小浦漁港では、防波堤が滑動・転倒し、他の漁港施設にも甚大な被害が発生。



防波堤の滑動・転倒(水津漁港)



岸壁の破損(水津漁港)



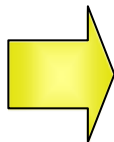
防波堤の滑動・転倒(北小浦漁港)

●対応状況

- ・新潟県と富山県の被災地へ、災害が発生した翌日から水産庁担当官らを派遣し、被災状況の把握、技術的助言、寄り回り波に関する現地調査等を実施。
- ・地元漁業者や地域住民の意向等を踏まえ、早期漁業活動の再開、背後地への被害拡大防止及び早期災害復旧のため、査定前に着工できる応急工事を実施。
- ・波の特性や漁港施設等の被災原因を明らかにするため、学識経験者等から構成される「日本海高波浪に関する技術検討委員会」を設置。委員会による提言(中間取りまとめ)を踏まえ、災害復旧事業の内容を決定。
- ・現地災害査定は、6月4日までに全て完了。被害額が4億円を越える水津、鷲崎、北小浦漁港の4施設(防波堤)については、6月30日に財務省と保留協議を終了。
- ・発注準備が整ったところから、本格的な復旧工事を実施。



被災状況 富山県入善漁港海岸



復旧状況

●復旧状況

富山県入善漁港海岸

- ・離岸堤、潜堤、護岸復旧工事は平成20年10月までに完了しており、陸閘工事については平成20年11月末に完了予定。
- ・平成20年度の災害対策等緊急事業推進費(海岸保全施設整備事業)の活用により、副堤及び護岸の嵩上げ工事を行うこととしている。
なお、副堤の胸壁部については、平成20年11月13日に着工し、年内の完了を目指している。

新潟県佐渡島の漁港

- ・特に甚大な被害を受けた水津、鷺崎、北小浦漁港については、消波堤のブロック製作・据付工事を施工中(平成20年12月完了予定)であり、年度内にケーソンの取り壊し、一部ケーソン製作にとりかかる予定である。
また、上記の他佐渡島における漁港関係施設15箇所のうち、6箇所が完了(平成20年10月末現在)し、残る9箇所についても今年度中に完了を予定している。